

【奨励賞】

未来を売って今を変える！ 次世代の英雄を発掘する株式型奨学金

東京経済大学 経済学部	笠倉 一樹
〃	宮原 満希子
〃	當宮 大智
〃	原田 拓歩

（要旨）

昨今、企業は優秀な人材を求めている。学生が主体性を向上させること、社会と積極的に関わることなどにより、企業が期待する能力を習得することが望まれるが、学生がそうした機会を得ることは難しい。また、能力習得にはコストがかかり、そのコストを賄う手段として奨学金があるが、卒業後の返還負担が大きいという問題がある。

これら問題の解決策として「株式型奨学金制度」を提言する。この制度では、卒業後に困窮した際には、経済的負担の軽減が図られる。また、投資家を民間から募るため、学生と社会人との接点も生まれるほか、制度運営主体である日本学生支援機構に過度な負担をさせず、主体的な学生ほど優先的に好条件で獲得できる仕組みとなっている。

学生が金融に触れる機会が得られる、民間投資家の投資先が拡大するなど、様々な効果も期待できる制度であり、この制度を利用した学生から、将来世界で活躍するリーダーが誕生することを期待したい。